

## ちょっと怖かった話

### —幽霊を見たことがありますか—

いちかわ じゅんせい  
市川 順聖

(浜松日本語学院日本語教師養成講座)

とつぜん ですが、みなさんは幽霊を信じますか。僕は子どもの頃、幽霊が出てくる  
えいが ながて みに 観ていました。怖いものみたさというものでしょうか。  
だからかもしれませんが、僕は幽霊の存在を昔から信じています。これから記  
す体験は、そんな僕が幽霊の存在を確信するようになった出来事です。  
ぼく ひとりぐら をしていたアパートは、大学からすぐ近くの岡の上にあります  
した。こじんまりしたワンルームでしたが、男1人がゆっくりするには充分な  
へや でした。家賃が安いこともあって、「あること」を除けば何も問題のない部屋  
でした。しかし、その「あること」によって少しずつ生活に違和感を感じるよう  
になりました。それは、どんなにかんきしても変わらない湿気と独特なおいでし  
た。暮らし始めた時はあまり気にしていませんでしたが、エアコンの除湿を最大  
にしても部屋のなかカビが生えることを経験して以降、僕の不安は次第におお  
くなくなっていきました。そして一人暮らしを始めて一年が経ったある日、この不安  
の種が何なのかが判明する出来事が起こったのです。

だいがく かえ ぼく ゆうしょく す よなか  
大学から帰ってきた僕は、夕食とシャワーを済ませ夜中までゲームをしてい  
ました。深夜1時を回りそろそろ寝ようと考えベッドに横になりました。眠り

についてしばらくした時、僕は生まれて初めて金縛りを経験しました。体も動  
かず声も出せない僕が部屋を見ていると、トイレのドアが勝手に開き、机の上  
の物が動き出しました。これはヤバイと置いていたら、いつのまにか部屋は元  
に戻り金縛りも解けていました。「きっと悪い夢でも見ているのだろう。」と考  
え  
た僕は、トイレに向かおうと体を起こしました。その時、青色の着物を着た子  
どもが僕の目の前に立ち、くすくすと笑っていたのです。男の子は僕の肩をつ  
かむと思いきりベッドに押し倒してきました。押し倒された瞬間、僕はベッ  
ドからはね起きました。元通りの部屋に、男の子の姿はありませんでした。やは  
り悪夢を見ただけだったようです。しかし、僕は時計を見てその考えは間違い  
だったと気づきました。なぜなら、押し倒される瞬間に見えた時刻と、はね起  
きた時刻が全く同じだったからです。そんなことが、普通はありえるのでしょ  
うか。

青い着物の男の子が現れた次の日、僕は靈感のある友人に部屋へ来てもら  
いました。するとその子が言うことには、僕の部屋と岡の更にある神社が霊  
道によって結ばれているとのことでした。専門家に依頼し、部屋を清めてもらっ  
て以降は、あの謎の湿気もおいも無くなっていました。僕が見たあの男の子  
はきっと幽霊なのでしょうが、彼はいったい何がしたかったのか、今でも謎のま  
まです。

(1087字)

(2022.6 たどくのひろば掲載)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.